

# 公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和5年1月27日（金）に開催された。

## 1 決裁事項

・

- ・秋田県警察の組織に関する規則の一部を改正する規則について
- ・運転免許の事後取消処分について
- ・令和5年度運転免許関係業務委託に係る公安委員会認定審査の実施について

## 2 報告事項

### (1) 警察職員の職務執行に対する感謝事例等について (令和4年第4・四半期及び令和4年中)

県警察から、警察職員の職務執行に対する感謝事例等に関する報告があった。

令和4年10月から12月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例は、9件あった。その内訳は、「警務警察活動」2件、「生活安全警察活動」4件、「刑事警察活動」1件、「交通警察活動」2件である。

令和4年中に寄せられた感謝事例は37件と、前年より2件増加したとのことであった。

委員から、「一つ一つの事案に丁寧に対応することが、いかに大事か分かる。」「今後も丁寧な対応をしていただきたい。」との発言があった。

### (2) 令和5年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案について

県警察から、令和5年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案に関する報告があった。

令和5年秋田県議会第1回定例会（2月議会）に提出の議案は、令和4年度2月補正予算案、工事請負変更契約の締結及び令和5年度当初予算案であるとのことであった。

委員から、「限りある予算を有効活用していただきたい。」との発言があった。

### (3) 令和4年度刑事部監察の実施結果について

県警察から、令和4年度刑事部監察の実施結果に関する報告があった。

令和4年10月28日から同年11月17日までの間に実施したとのことであった。

委員から、「監察で指導されることで気付きを得たり、問題意識を持つなど、現場に新しい風が吹くことを期待する。」との発言があった。

### (4) 令和4年中の前兆事案取扱状況について（暫定値）

県警察から、令和4年中の前兆事案取扱状況に関する報告があった。

令和4年中の前兆事案認知件数は336件と、前年より102件減少した。認知件数の

うち、解決した事案は180件と、前年より25件減少したとのことであった。

委員から、「被害状況に関する情報を発信し、住民に注意喚起していただきたい。」  
「子供たちが怖い思いをしないよう、未然防止対策をしていただきたい。」との発言があった。

(5) 令和4年中の特殊詐欺の認知、検挙状況等について（暫定値）

県警察から、令和4年中の特殊詐欺の認知、検挙状況等に関する報告があった。

令和4年の特殊詐欺認知件数は66件、被害総額は約1億331万円と、前年より件数は21件増加、金額は約2,443万円増加した。

認知事件の特徴として、有料サイト未納料金名目やパソコンウイルス対策費用名目等の架空料金請求詐欺の被害が、全体の約75%を占めている。

抑止対策として、コンビニエンスストアと連携した電子マネー被害の防止対策、高齢者世帯等に重点指向した巡回連絡、発生実態を踏まえた広報啓発活動等を推進していくとのことであった。

委員から、「警察署、交番単位で地域事情に合わせた工夫をして、被害抑止に取り組んでいただきたい。」との発言があった。

(6) 大館能代空港不法侵入事案対応訓練の実施結果について

県警察から、大館能代空港不法侵入事案対応訓練の実施結果に関する報告があった。

1月24日、大館能代空港ターミナルビルにおいて、不法侵入事案の発生を想定した訓練を実施し、同空港保安委員会等関係機関との連携及び対応手順を確認したとのことであった。

委員から、「臨場感ある訓練を通じて、訓練参加者は危険性を実感できたと思う。様々な訓練を継続していただきたい。」との発言があった。